

令和6年度第5回
聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議資料

第4回会議から修正のあった事業(基本目標1・2)

- 施策一覧 -

聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議事務局

事業シート【基本目標1:しごとづくり】

継 続

事業番号	1-①-2	担当課	産業観光課
基本目標	しごとづくり ～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備		
事業名	生産者に対する「チャレンジ育成型」の取組		
具体的事業内容	農産物の販路拡大やブランド化に取り組む生産者への活動支援		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> 当町で産地化が進んでいるさくらんぼやぶどうなどは観光農園が経営され、栽培方法も個々に確立されており、町のブランドとして品質規格の統一化は難しい。 意欲的に販路拡大等に取り組む生産者へ個々に活動支援するとともに、現在まで実施された販路拡大のためのノウハウ等を広く共有することにより、最終的な帰結として産地化を目指すべき。
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	販路拡大のため新たな発想に基づく取り組みや、新規に就農を目指す若手生産者の支援を通じて産地化を図ります。 併せて、事業の効果検証を通じて販路拡大のために共有できる内容や手法を検討し、担い手などに広く展開します。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
販路拡大に取り組む生産者支援件数	12件 (20182022～2023)	24件 36件 (2025～2030)	2030年度までの累計支援件数とする。複数年支援の場合は複数回カウント(例:3年間事業→カウント3)

継 続

事業番号	1-①-3	担当課	産業観光課
基本目標	しごとづくり ～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備		
事業名	新規就農者確保対策事業		
具体的事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 国の新規就農者育成総合対策を活用し、町で認定する新規就農者に対し支援 大学等との連携を契機とした新規就農促進 		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> 聖籠町における営農の持続性のため、引き続き、担い手確保のため、国の制度を活用して青年農業者の就農を図っていくことが重要である。 農業従事者の高齢化、それに伴う担い手の減少が大きな課題である。 デジタル化や販路拡大に向けた新たな取組に関心のある新規就農者は多いが、ノウハウがないため、取り組めないままである。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	国の制度を活用した新規就農者の確保と育成対策を引き続き推進します。 併せて、新たに大学等との連携により、学生とのつながりを創出するとともに農業振興、地域活性化等に取り組むことで、新規就農の促進を図ります。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
新規就農者の認定件数	7人 (2018～2023)	8人 10人 (2025～2030)	町から青年等就農計画の認定を受け認定新規就農者となった者の人数(6年間の累計)

事業シート【基本目標1:しごとづくり】

継 続

事業番号	1-②-2	担当課	産業観光課
基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化		
事業名	交流人口拡大のための広域的な観光周遊ルートの整備		
具体的事業内容	広域圏での観光周遊ルート整備、海外や首都圏に向けた観光PR		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生の主要事業としてインバウンドをはじめとする観光事業がとりざたされているものの、町には観光産業が分厚く形成されておらず、町の主な観光資源はさくらんぼ・ぶどうの観光農園など季節的である。 ・通年で誘客できたゴルフ場も令和7年3月末で閉鎖される予定であり、広域で連携した誘客の重要性がさらに増している。
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	広域エリアで作成した広域観光周遊ルートを活用し、首都圏に向けた広域連携によるPRを強化するとともに、町の観光資源である観光ぶどう園や夏まつり等のイベントをPRし、季節的な観光資源を有効的に活用します。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
聖籠町への観光入込客数	47,000人 266,390人 (2023)	50,000人 280,000人	新潟県観光入込客統計調査 ※調査対象:(非日常利用、一定以上の観光客数等の条件を満たす観光地点、行祭事・イベント等)のうち令和7年度以降に存続していない施設を除く

新 規

事業番号	1-②-3	担当課	総合政策課
基本目標	しごとづくり～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～		
施策名	地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化		
事業名	アルビレッジを拠点とした地域活性化の推進		
具体的事業内容	官民連携によるアルビレッジを拠点とした地域活性化事業の実施(企業版ふるさと納税を財源に、アルビレッジを拠点としたハード・ソフト事業を実施)		

戦略策定時の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町の主な観光資源はさくらんぼ・ぶどうの観光農園やマリノレジャーなどで、季節限定的であるとともに、それらの観光入込客数も減少が進んでいる。 ・アルビレッジは民間事業者が運営しており、大会利用やプロ選手との交流の場として機能していたが、町との連携や、町民とのつながりは弱い状況であった。
----------	---

戦略内容(戦略記載文)	スポーツを通じた聖籠町民の暮らしの向上、交流人口・関係人口の拡大を目指して、アルビレッジ新潟等との官民連携により、アルビレッジを拠点とした地域活性化プロジェクトを推進します。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
アルビレッジ来訪者数(年度延べ人数)	166,419人(2023)	(検討中) 230,000人	NPO法人新潟スポーツコミュニティ(アルビレッジ運営団体)調べ

事業シート【基本目標2:結婚・出産・子育て】

継 続

事業番号	2-②-2	担当課	子ども教育課
基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
施策名	子育てに関する包括的な支援体制の構築		
事業名	地域子育て支援拠点の設置		
具体的事業内容	地域交流施設「そだちの家」にて下記事業を実施 ・月曜日から金曜日に、子育て支援センター「すくすくサロンさくらんぼ」として開放 ・土日(祝祭日除く)に、屋内遊び場の一つとして開放		

戦略策定時の課題	・少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、子育て支援体制強化の重要性が高まっている。
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	地域交流施設「そだちの家」を、月曜日から金曜日までは子育て親子の交流等を促進する子育て支援センター施設「すくすくサロンさくらんぼ」として開放し、子育てについての相談、情報提供、助言などを行います。 土日は乳幼児とその保護者の屋内遊び場の一つとして開放します。
-------------	--

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
子育て支援センター及び屋内遊び場の利用者数(年間延べ人数)	3,424人 4,139人(2023)	4,000人	町子ども教育課調べ

継 続

デジタル

事業番号	2-④-1	担当課	子ども教育課
基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
施策名	仕事と子育ての両立支援		
事業名	保育ニーズに対応した就学前の子どもの受け入れ環境整備		
具体的事業内容	・就学前の子どもの受け入れる保育所等の整備 ・保護者との連絡システムの活用(出欠連絡、登降園管理、お便り配信など)		

戦略策定時の課題	・町においては、近年待機児童ゼロを継続しているが、令和5年度に実施した未入園児保護者へのアンケート結果では、0歳児～2歳児の入所希望者数が現状の定員数を上回り、現状の体制では待機児童の発生が見込まれる。 ・ライフスタイルや働き方の多様化に伴い、休日保育の実施を求める声が増えている。 ・保護者の利便性向上、保育の質の向上の観点から、デジタル技術を活用した保護者との連絡体制の構築が求められている。
----------	--

戦略内容(戦略記載文)	入所希望者数の増加に対応し、待機児童の発生を未然に防ぐため、現状の私立認定こども園4園、町立幼稚園1園のほか、新たに私立保育所1園(令和7年4月開園予定)を加えた体制を構築します。 また併せて、令和7年度より新たに休日保育事業を実施するとともに、令和4年度から導入している保護者との連絡システムを活用し、保護者の利便性向上、施設運営の効率化を図り、家庭との連携強化を実現します推進します。
-------------	---

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
保育所等の待機児童数(各年4月1日時点)	0人	0人	町子ども教育課調べ

事業シート【基本目標2:結婚・出産・子育て】

新規

事業番号	2-④-3	担当課	教育未来課
基本目標	結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
施策名	仕事と子育ての両立支援		
事業名	放課後子ども教室の運営		
具体的事業内容	町内3小学校における放課後子ども教室の運営		

戦略策定時の課題	・安全で自由に遊べる場所の減少、子どもが巻き込まれる犯罪の増加など、子どもを取り巻く環境の変化により、安全・安心な放課後の居場所づくりのニーズが高まっている。
----------	---

戦略内容 (戦略記載文)	町内3小学校において、有償ボランティアによる自学や遊びの見守りを実施する「放課後子ども教室」を運営し、放課後における子どもの居場所を提供します。(令和5年9月事業開始) 令和6年度までの試行期間で生じた課題を踏まえ運営体制の改善を図り、令和7年度から本格実施します。
-----------------	--

KPI(重要業績評価指標)	2024基準値	2030目標値	KPIの算出方法等
放課後子ども教室運営日数	102日 103日 (2023)	180日	町教育未来課調べ